# 「神のみことばで生きる」　　２０１８・６・３

Ⅰ　神は、私達を、肉体と霊を持つ人間として造られた。
それゆえに、肉体の為に、パン、肉、野菜、果物、他すべての必要を満たして下さる。
作物に必要な、雨、太陽、土を下さるのは神である。感謝します。

Ⅱ「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる」
マタイ４：４。

神は、肉体の必要だけではなく、霊、心の食物、栄養として、日々、聖書の御言葉を与えて下さる先行する恵みを感謝したい。

１．私達が、困難の中で恐れる時。
「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。
たじろぐな。わたしがあなたの神だから。
わたしはあなたを強くし、あなたを助け、
わたしの義の右の手で、あなたを守る」イザヤ４１：１０　と語って下さる。

２．神の変わらない真実な愛を見失い、自分なんか、いてもいなくてもいいと失望する時→
「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している」イザヤ４３：４。
主は語り掛けて下さる。

３．必要の満たしが必要な時→
「きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくしてくださらないわけがありましょうか。信仰の薄い人たち。…あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい（神を第一とし御聖霊に頼って神に従いなさい）。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります」マタイ６：３０－３４。
明日以降のすべてを支配しておられる神が私達を守られる。

４．試練に会う時→
「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」
Ⅰコリント１０：１３。
神はすべてを見、知り、支配しておられる。

５．心の平安がなくなる時→
「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなた方の願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます」
ピリピ４：６，７。

６．悪魔の誘惑と自分の心に残っている罪の性質が、不義、罪、悪を繰り返させ、悪習、一時的な罪の楽しみ、欲望の奴隷にさせようとする時→

「御霊によって（御霊の与える御言葉の武具の力、御霊が与えて下さる神との幸いな交わり）歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません」

ガラテヤ５：１６

７．不平、不満、文句が多くなる時→

「感謝の心を持つ人になりなさい」コロサイ３：１５。

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな」

詩篇１０３：２。

「衣食があれば、それで満足すべきです」Ｉテモテ６：８。

「いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない』」ヘブル１３：５。

８．急ぎ過ぎ、あわてる時→

「たましいに知識（御言葉）がないことは良くない。

急ぎ足の者は罪に陥る」箴言１９：２。

あせならない、あわてない、あきらめない。一呼吸を置き、神に祈る。

※失敗と神の憐みの証し。

「立ち返って落ち着いていれば、あなたがたは救われ、

静かにして信頼すれば、あなたがたは力を得る」イザヤ３０：１５。

感情的になっている時は、大切な決断を急いでしてはならない。まず祈り落ち着きたい。

９．大切な神の導き、御心を求める時→

「この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心（原語：思い、考え方）を新たにする（御聖霊と御言葉と神との交わりにより）ことで、自分を変えていただきなさい（原語：変えられ続けなさい）。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります」ローマ１２：２。

「あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」箴言３：６。

「雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」

マタイ１０：２９。

何一つ、偶然には起きない。神はすべてを支配しておられる。無意味に起こる事はなく、私達人間には、今は、分からなくても、意味がある。

神は、試練を通して私達に、神と自分の関係がずれていることに気づかせてくださる。

私達を神に立ち返らせ、神に近づかせ「すべてのことがともに働いて益となる」

ローマ８：２８